



# 櫻本市長が所信表明。 負担強化とサービス切り捨ての「行革」転換を

副市長、正副議長などを選任する臨時議会が去る8日開催されました。本会議では櫻本市長が所信表明をしました。28日からは定例議会が開催されますが、共産党市議団は市民の暮らし、守る市政の実現へ質問します。



## 臨時議会で決まった 市と議会の主な人事

■副市長(市長提案)  
吉川武克  
(賛成)山崎敦志、岩井、鈴木、橋、小菅  
(反対)奥山、山崎有子、服部、稻垣、荒川、津村、木下、村田、石川、田中、東郷

.....

■議長  
山本 剛 13票  
山崎敦志 1票  
白票 3票

■副議長  
津村俊二 15票  
田中陽介 1票  
白票 1票

■議会選出監査委員  
議会申し合せは「1年」だが  
今臨時議会では改選見送り

臨時議会冒頭の所信表明で櫻本市長は、①若い人に選ばれるまち、②高齢者に安全と安心で楽しいまち、③市民と民間の力を活かすまち、の基本姿勢を述べました。その一方で、野洲市の「行財政運営、収支バランスは大きく壊れている」として、櫻本市長自身が在任中進めた「行財政改革プラン」の目標である、事業の合理化・見直しを引き続き進めていくことを明らかにしました。

この3年間進められてきた「行財政改革プラン」は、市民サービスセンター廃止や、文化ホール3施設の統廃合（さざなみホールは解体）です。また、使用料・手数料の値上げなど、市民サービス切り捨てと負担強化でした。この「行財政改革プラン」の継続表明は、さらなる市民犠牲が懸念されます。

懸案の新病院建設については、「これまでの経緯や市民の医療ニーズを踏まえ早急に再検証すること」を表明しました。

共産党は櫻本市長に新病院の早期建設を求めるとともに、柏木市長のもと、市民と議会、医師会との議論と合意不足。建設の入札方式と膨れ上がる予算、また、地域医療と市民の命と健康を守る新病院の早期建設へ、市民の立場に立った「再検証」を求めるものです。尚、櫻本市長が同意を求めた副市長選任議案は、反対多数で否決されました。

櫻本市长の所信表明。「健全財政へ、行財政改革プランの田  
標へ、事業の合理化と見直しを進める」とのことですが、「一  
これまで進めてきた行革は、市民サービスセンター廃止、文  
化施設統廃合(さざなみホール解体)、使用料・手数料負担  
増でした。」のままで、さらなる市民犠牲の懸念が…。

# 市政の基本は市民の暮らし優先

定例議会で共産党市議団は暮らし守る市政へ、引き続き、行財政改の推進を主張する櫻本市長に対して、これまでの市民犠牲の行革姿勢を改めること。また、暮らしが大変な時、子どもの医療費の完全無料化、学校給食の無償化、待機児童解消などを求めます。

28日から定例議会が始まります。12月5日から一般質問が行われます。ご意見やご要望を下記連絡先までお寄せください。

## 11月定例市議会の主な日程

- 11月28日(木) 本会議（議案提案）  
12月 5日(木) 本会議（議案質疑、一般質問）  
6日(金) 本会議（一般質問）  
9日(月) 本会議（一般質問）  
10日(火) 予算委員会分科会、常任委員会  
11日(水) 予算委員会分科会、常任委員会  
12日(木) 予算委員会分科会、常任委員会  
18日(水) 予算常任委員会  
20日(金) 議会運営委員会（午前9時）  
全員協議会（午前10時）  
本会議（議案討論、採決）午後1時

市政・市議会へ  
ご意見ご要望を  
お寄せください

小菅康子 比江 668-3 (電話・FAX) 589-4971  
工藤義明 小篠原 879 (電話・FAX) 588-1856  
野並享子 北野 1-7-10 (電話・FAX) 587-0985  
東郷正明 比江 864 (電話・FAX) 589-4158

日本共産党野洲市委員会が見解を発表しましたのでお知らせします

